

令和8年度 地域循環共生圏づくり支援体制構築事業 実施計画書

活動団体の本事業での活動テーマ

『ゼロカーボン・ローカルSDGsに関するPF形成』

活動団体の活動地域：滋賀県湖北地域

活動団体名：ともすラボ

中間支援主体名：エネシフ湖北

参加団体の基本情報

(1) 活動団体の基本情報

団体名	ともすラボ
活動地域	滋賀県湖北地域
専門性・強み	
#人材の発掘 #眠っている資源の発掘 #つなぐ	

団体概要
地域の人や資源に光をあて、人と人を結ぶ付け、何らかのプロジェクトや事業のタネを生み出していくようなプラットフォームづくりを行う団体。

(2) 中間支援主体の基本情報

団体名	エネシフ湖北
活動地域	滋賀県湖北地域
専門性・強み	
#見える化 #エネルギー #環境	

団体概要
ゼロカーボン・エネルギー・環境等を切り口に、地域の課題が見える化し、新たな事業等に繋げていくコーディネートを行う団体。

活動団体と地域の紹介



再エネ供給エリア



エネルギー需要エリア



森林・田園区域

農業の盛んな地域と市の北部に広がる豊かな自然資源・生態系が展開される地域



産業・集積区域

生産工場が集積した地域



商業・観光区域

観光・商業を中心とした経済活動の集積地域

中心市街地・居住区域

住宅地が広がり、かつ日常的な商業機能なども点在する地域

活動団体の目指す地域の姿【R8当初計画】

■ 地域循環共生圏の構築を通じてありたい地域の姿

- ・ 脱炭素やローカルSDGsに関するビジネスや活動が次々と生まれるような地域
- ・ 活動している主体同士が緩やかに繋がっている状態
- ・ 地域外のリソースを地域内がうまく活用し、連携できている状態

■ 地域に必要なプラットフォームの体制や仕組み

- ・ 主体同士のつながりが創出される場
- ・ ビジネス化に繋げる場・仕組
- ・ 資金や人材がまわる仕組
- ・ 地域内外の人材が挑戦できる場
- ・ 多くの関わり口

■ ローカルSDGs事業として取り組む内容

- ・ 地域の構造の「見える化」事業
- ・ 森・水の暮らしの価値の再発見
- ・ ゼロカーボン×〇〇の取り組み

■ 地域の現状と課題

- ・ 脱炭素やローカルSDGsに関して多くの主体が活動している状況。
- ・ 事業のタネやプレイヤー候補が多く存在。

(参考) ローカルSDGs 事業の紹介

ローカルSDGs 事業の取組

『断熱ワークショップ』

【概要】

中学校で断熱ワークショップを実施するために、寄付集め、企画等を行っている。



【段階】実践

【活用している自然資本・地域資源】

- ・地域の理解ある企業・住民(寄付の協力)
- ・熱心な生徒会活動、生徒会長
- ・地域の工務店

【事業により生じたor 生じそうな成果】

- ・学校や子どもを真ん中においた地域の盛り上がり
- ・断熱に関する理解の醸成

今後の展望

・断熱というテーマに関心のある事業者や住民とのつながりの場を引き続き作っていくことで、新たなプロジェクトを生み出し続ける。



『ちょうちん祭り』

【概要】

- ・EVから電気を放電してちょうちんを灯す「ちょうちん祭り」を開催
- ・学校や地域を巻き込んで、2年連続で開催



【段階】実践

【活用している自然資本・地域資源】

- ・地域の学校
- ・地域の高齢者
- ・EVメーカーの企業

【事業により生じたor 生じそうな成果】

- ・学校や子どもを真ん中においた地域の盛り上がり
- ・EVに関する理解の醸成

今後の展望

・EVを活用した様々なイベント等を通じ、地域の人々に理解を浸透させるとともに、イベントを通じて自動車メーカーとも連携を深め、地域内での新たな取り組みにつなげる。

(参考) 現時点のマンドラ

エネシフ湖北に関連する事業のタネとその担い手

脱炭素×森林・林業

⑤ 木質バイオマス事業

森林組合



脱炭素×集落機能の維持

⑨ オフグリッド集落

⑩ 小水力発電事業

脱炭素×農業

⑥ エネルギー農業



脱炭素×交通

④ 次世代交通システム

バス・タクシー会社

合同会社andstep

脱炭素×住宅

⑦ 断熱リフォーム事業

不動産会社

脱炭素×教育

滋賀県立伊香高校

滋賀県立大学

脱炭素×地域経済

② 小売電気事業

① 地域主導 PPA事業

株式会社 こほくエナジー

③ EV活用エネルギー
マネジメント

脱炭素×福祉・健康

社会福祉協議会

脱炭素×防災

脱炭素×テーマ

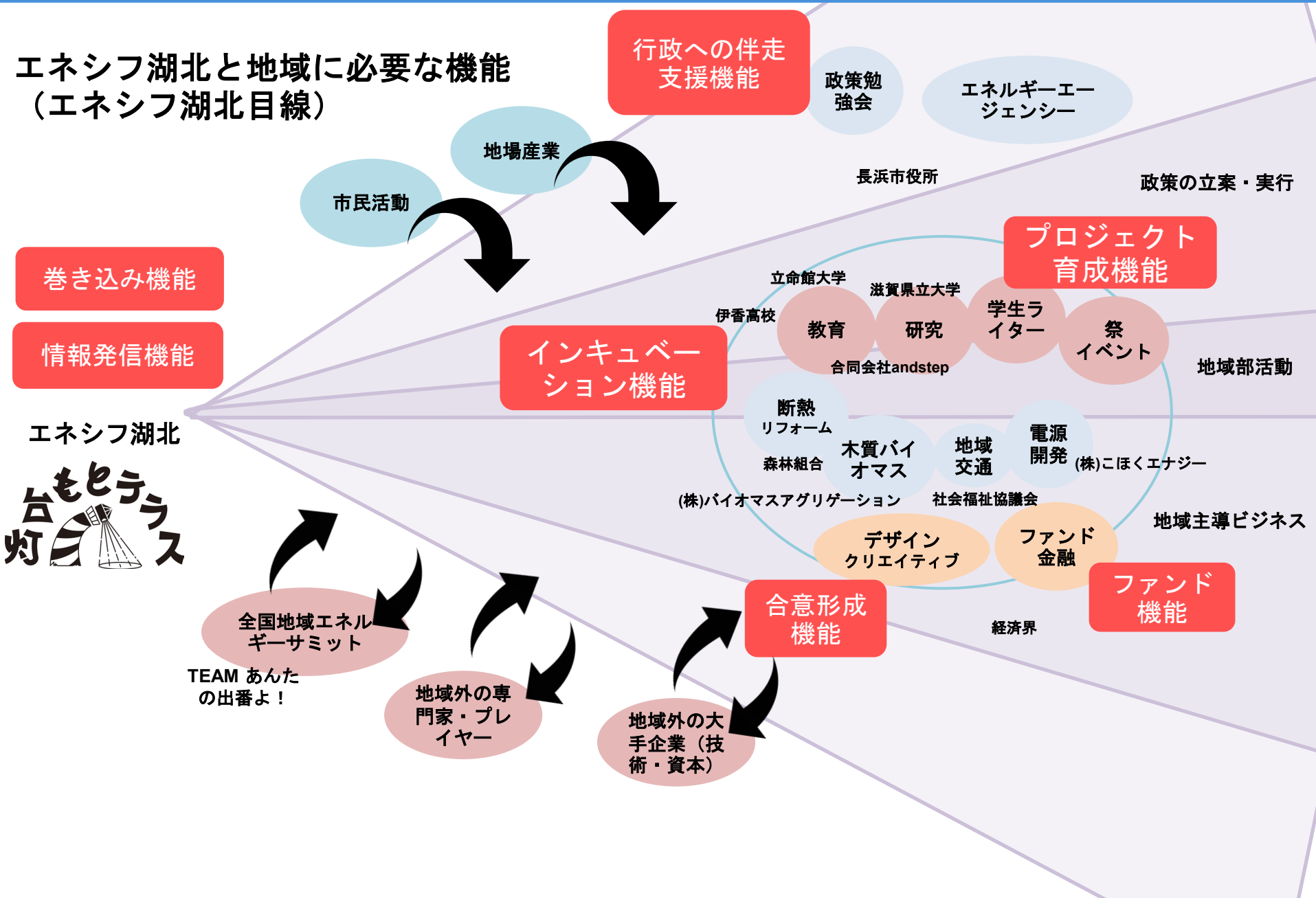
事業モデル

担い手/プレイヤー

※ながはまゼロカーボンビジョン2050におけるZERO CARBON DREAM MAP にエネシフ湖北が追記して作成

(参考) 現時点のマンドラ

エネシフ湖北と地域に必要な機能
(エネシフ湖北目線)



行政への伴走
支援機能

政策勉強会

エネルギーエージェンシー

地場産業

市民活動

長浜市役所

政策の立案・実行

巻き込み機能

情報発信機能

インキュベーション機能

プロジェクト
育成機能

立命館大学

滋賀県立大学

伊香高校

教育

研究

学生ライター

祭イベント

合同会社andstep

地域部活動

エネシフ湖北

断熱
リフォーム

木質バイオマス

地域
交通

電源
開発

(株)こほくエナジー

森林組合

(株)バイオマスアグリゲーション

社会福祉協議会

地域主導ビジネス



全国地域エネルギーサミット

TEAM あんたの出番よ!

地域外の専門家・プレイヤー

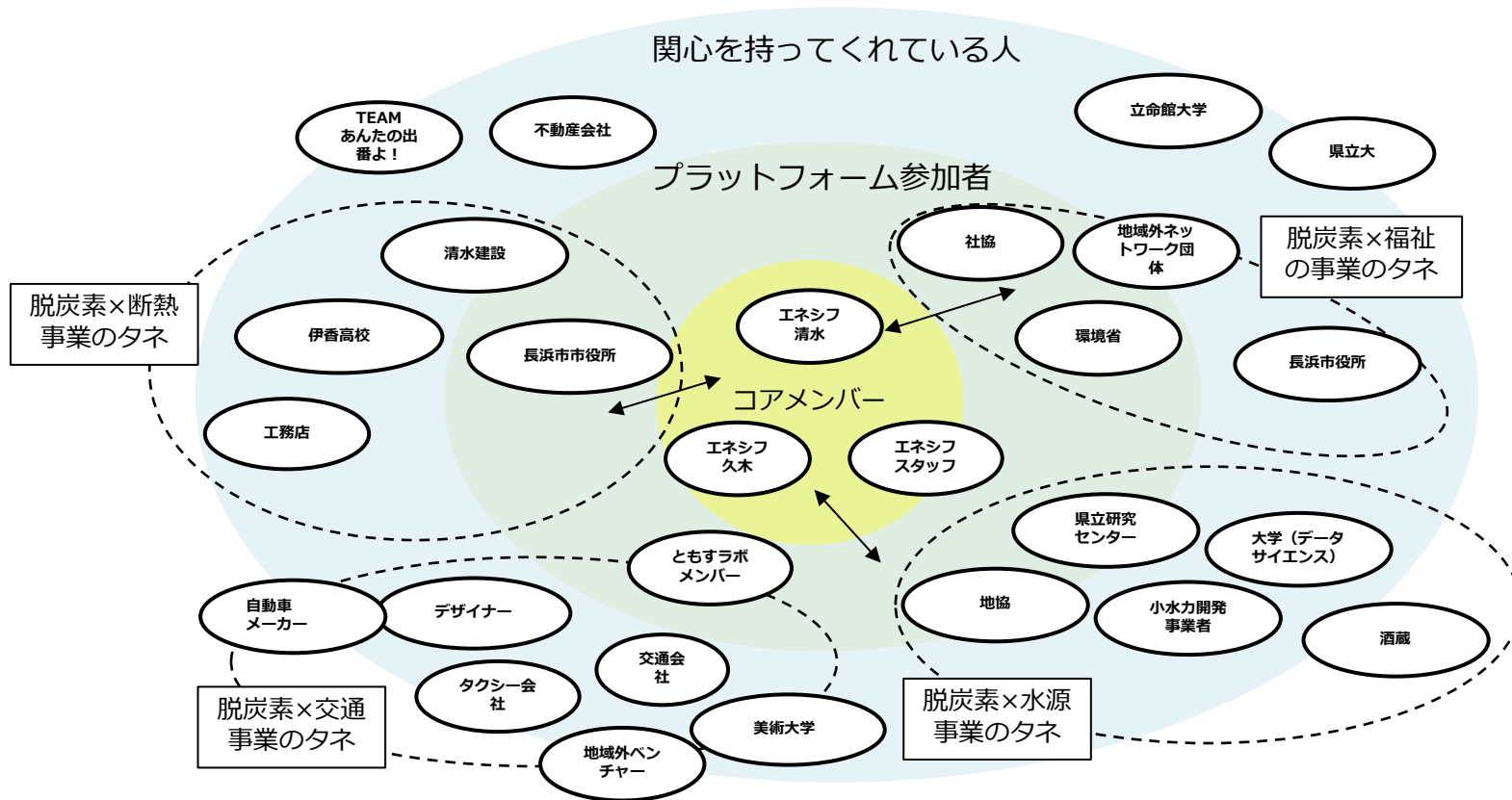
地域外の大手企業 (技術・資本)

合意形成機能

経済界

ファンド機能

“地域プラットフォーム”のイメージ



3カ年状態目標

■ 2027年度末の状態目標

- ・地域の構造の「見える化」に関するメソッドが開発。
- ・脱炭素×〇〇のプロジェクトや事業が次々と生み出される仕組みが構築される。

■ 2026年度末の状態目標

- ・ゼロカーボン×〇〇のプロジェクトについては継続して生み出していく。
- ・ステークホルダーシナリオの手法の改善を行う。
- ・長浜や湖北での中間支援組織の在り方や役割分担に関して一定の方向性が見出す
⇒エネルギーエージェンシー、エネシフ湖北、ともすラボ等の役割の整理

■ 2025年度末の成果と振り返り

- ・ゼロカーボン×〇〇のプロジェクト事例を創出できた（断熱WS、ちょうちん祭り等）
- ・地域の構造を「見える化」するステークホルダーシナリオ、ステークホルダーミーティングのトライアルを行った。

今年度の状態目標に向けた取組内容【R8当初計画】

- これまでの歩み、成果や課題などを踏まえ、今後、プラットフォーム形成・運営のために、今年度優先的にチャレンジしたいアクションサイクルを記載ください。(最低3つ記載ください。)

	優先する アクションサイクル	いつまでに実現するか	実現のために何をするか	実現のために必要なこと (ヒト/モノ/カネ/仕組み/ 機能等々)
①	体制を整える	R9. 3月	事務局の担い手を探す	人(事務局の担い手) カネ・仕組(事務局の人件費を長期的に確保するための仕組み)
②	事業主体を探す	R9. 3月	イベントなどを通じて、主体を発掘し、挑戦の後押しをする	人(実際に新たな事業展開を目指す人)
③	事業を生み出す	R9. 3月	事業を生み出す仕組みをつくる	カネ・仕組(事業を生み出す仕組み・資金調達の仕組み)

中間支援主体の支援・取組計画【R8当初計画】

■ 中間支援主体の1年間の支援目標

地域外等の他の主体との連携を促し、活動を進展させるために、見える化を支援する。

■ 支援計画

	活動団体の取組における現状と課題 (見立て)	課題を解決するために必要と考える手段 (打ち手)
①	現状把握・何が足りないのかを明確にしていくことが必要	長浜バイオ大学等と連携し、見える化を支援する
②	活動を支える体制の構築が必要	新しい主体と繋がることや必要な事務の整理の支援を行う
③	環境やエネルギーの事業化に繋げるためのノウハウの不足	取組や事業をつくるためのノウハウの提供

中間支援主体のありたい姿

■ 中間支援主体としての本事業を通じた獲得目標とそのための具体的なアクション

- ・ 継続的に様々な人や団体を繋ぐ場の設定・見える化を安定的に行える団体となること
- ・ アプローチをメソッドとして確立すること

■ 中間支援主体としての本事業終了後の地域づくりへの貢献

- ・ 確立したメソッドを他地域でも展開していくこと
- ・ 滋賀県・近畿圏で長浜でのアプローチを広げ、人と人を繋ぎ、見える化し、事業のタネを作っていくような取組を広げていきたい。

活動・支援スケジュール【R8当初計画】

■スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
プラットフォーム構築のための取組【活動団体】				ヒアリング	ヒアリング	ヒアリング	ヒアリング		ヒアリング 結果整理	ステークホルダー MTG		
ローカルSDGS事業創出に向けた取組【活動団体】					プレイヤー・事業のタネの発掘①		プレイヤー・事業のタネの発掘②		プレイヤー・事業のタネの発掘③			
中間支援主体の支援・取組計画					専門家とのつなぎ役		外部団体とのつなぎ役					

備考（補足説明など必要な場合は記載）